

社会福祉法人青梅市社会福祉事業団 令和5年度 事業報告

青梅市社会福祉事業団は青梅市自立センターの指定管理者として「青梅市自立センター条例」の設置目的に基づき「心身に障害がある者に対し、自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう必要な支援を行ない、もって障害者の福祉増進を図ること」を目的に、青梅市と一体となって、利用者の個々の年齢や障害特性等に応じた様々な支援サービスの提供に努めており、令和5年度中の主な活動等については以下のとおりです。

まず、法人としての動向ですが、当事業団は青梅市自立センターの指定管理者としての指定期間が令和6年3月31日までとなっておりますが、令和6年4月1日から令和11年3月31日までの新たな5年間においても当事業団を自立センターの指定管理者とすることが青梅市議会で議決され、青梅市から正式に指定されました。

これを受け事業団が現在行なっている事業を改めて整理し、向後5年間で重点的に行うべき事業を選定し、これまで培ってきた知識や経験を活用して質の高い支援を行なうことにより、市民福祉の向上を図るための指針として、「第5期中期経営計画」を策定しました。

また、災害発生時に利用者を守り、業務を継続していくために「震災編」「風水害編」「感染症編」の3つに分け、業務継続計画（BCP）を策定し、いざというときの備えとしました。

人事面では令和6年2月29日付で理事長の池田央氏が退任され、代わって3月1日付で小山高義氏が就任され、新たな体制となりました。

次に、青梅市自立センターにおける活動内容等ですが、当事業団は「生活介護」、「就労移行支援」、「就労継続支援」等に関することを行なっておりますが、その支援事業の共通する内容について報告します。

まず、新型コロナウイルス感染症対策についてはマスク着用、手指消毒、換気、検温等基本的なことに加え、東京都や青梅市の補助を受けながら、衛生薬品の購入、抗原検査の実施など継続的に必要な対策を講じてまいりました。

ワクチン接種についても7月に市内診療機関の巡回により第6回目となる「令和5年春開始接種」を、11月には東京都のワクチンバス事業を活用し、第7回目となる「令和5年秋冬開始接種」を実施いたしました。

その結果、利用者、職員とも時折、陽性者が散見されたものの施設内で感染が拡大することはなく、通常どおりの日課で平穩に過ごすことができました。

行事についても、日帰りバス旅行やレクリエーション活動はコロナ禍前とほぼ同様に実施することができ、全体行事である「運動会」は誠明学園体育館をお借りして、種目を限定したうえで半日開催とし、「ふれあいの集い」は招待者および出店数を減らし、バザーを取りやめるなど、会場内で来場者が密集しないような対策をとりながら開催しました。

「運動会」「ふれあいの集い」とも利用者、ご家族および職員等にとって久しぶりの開催とあって、多くの笑顔に接することができました。

また、利用者に提供している給食については、近年、調理員の確保が難しい状況が続いておりましたので、調理業務について就労、生活両棟一括して業者委託としましたが、大きな問題もなく安定した給食の提供が継続でき、食を通じて利用者の健康維持・増進に寄与できていると捉えています。

さらに利用者の健康管理の一環として、これまでの健康診断に加え、心理士による心理相談を開始し、毎月1回のペースではありますが利用者の内面的なフォローにも配慮いたしました。

一方では、コロナ禍で休止していた地域の皆様を対象とした福祉公開講座（ビーズアクセサリー教室）を6月から再開し、この教室を通じ、市民の皆様にも一定程度自立センターの存在と御理解を得られたのではないかと思います。

今後も、青梅市自立センターの管理運営を通じて社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を効果的かつ適正に行い、利用者が、心身ともに健やかに、日常生活を営むことができるよう支援してまいります。

I 事業団事務局

- 1 名称 社会福祉法人青梅市社会福祉事業団
- 2 設立 平成5年3月29日東京都知事認可
- 3 住所 東京都青梅市今井5丁目2434番地の2
- 4 電話 0428-32-1631（事務局、指導課および自立センター）
FAX 0428-32-6289（ ” ）

5 運営

青梅市から受託した青梅市自立センターの各事業所ならびに特定・障害児相談支援事業所「じりつ」の経営を円滑に実施するため、事業所間相互の有機的連携と、これらの事業所に対し中核的な機能を果たすように努めた。

6 役員、評議員、評議員選任・解任委員、第三者委員および職員

(1) 役員

理事6名 監事3名（別表第1-1のとおり）
任期2年（令和5年度の定時評議員会の終結の時から
令和7年度の定時評議員会の終結の時まで）

(2) 評議員

7名（別表第1-1のとおり）
任期4年（令和3年度の定時評議員会の終結の時から
令和7年度の定時評議員会の終結の時まで）

(3) 評議員選任・解任委員

3名（別表第1-2のとおり）
任期4年（令和2年度の定時評議員会の終結の時から
令和6年度の定時評議員会の終結の時まで）

(4) 第三者委員

2名 (別表第1-3のとおり)

任期2年 (令和5年4月1日から令和7年3月31日まで)

(5) 職員 4名

事務局長 1名 (常務理事兼務)

係長 1名

主事 2名

7 理事会

理事会は、業務決定機関として、次のとおり開催した。

第回	期 日	概 要
1	5月29日	1 令和4年度事業報告および決算報告 2 理事候補者の評議員会への推薦 3 監事候補者の評議員会への推薦 4 評議員の評議員選任・解任委員会への解任の提案および評議員候補者の評議員選任・解任委員会への推薦 5 職員退職手当基金取扱規程の一部を改正する規程 6 令和5年度第1回評議員会の招集について 7 理事長の職務執行状況の報告 8 常務理事の職務執行状況の報告 (出席者 理事5名 監事3名)
2	6月28日	1 理事長の選定 2 常務理事の選定 3 職員退職手当基金取扱規程の一部を改正する規程 (出席者 理事5名 監事3名)
3	2月14日	1 専決処分の承認 2 理事候補者の評議員会への推薦 3 令和5年度資金収支補正予算 4 令和5年度第2回評議員会の招集について 5 青梅市自立センター指定管理者の指定について 6 理事長の職務執行状況の報告について 7 常務理事の職務執行状況の報告について (出席者 理事6名 監事3名)
4	3月1日 -決議省略-	1 理事長の選定 (同意者 理事6名 監事3名)
5	3月19日	1 就業規則の一部を改正する規則 2 組織および事務分掌規程の一部を改正する規程 3 令和5年度資金収支補正予算[第二次補正] 4 第5期中期経営計画の策定について 5 令和6年度事業計画および資金収支当初予算 6 令和5年度第3回評議員会の招集について (出席者 理事6名 監事2名)
6	3月27日 -決議省略-	1 理事候補者の評議員会への推薦 2 令和5年度第3回評議員会の招集について (同意者 理事6名 監事3名)

8 評議員会

評議員会は、重要な業務決定事項の諮問機関として、次のとおり開催した。

第回	期 日	概 要
1	6月28日	1 令和4年度事業報告および決算報告 2 理事の選任 3 監事の選任 (出席者 評議員6名)
2	2月29日	1 理事の選任 2 令和5年度資金収支補正予算 3 青梅市自立センター指定管理者の指定について (出席者 評議員6名)
3	3月28日	1 令和5年度資金収支補正予算[第二次補正] 2 第5期中期経営計画の策定について 3 令和6年度事業計画および資金収支当初予算 4 理事の選任 (出席者 評議員5名)

9 連絡・調整

各事業所および青梅市との連携を緊密にし、事業計画、予算・経理・決算、事業報告、人事その他運営一般に関する事項等、理事会の方針の周知徹底を図った。

10 監査会

第回	期 日	概 要
1	5月17日	令和4年度の理事の職務の執行について監査を実施した。 (出席者 監事3名)

11 評議員選任・解任委員会

第回	期 日	概 要
1	6月7日	1 評議員の解任および選任 (出席者 委員3名)

12 第4期中期計画

本計画は令和元年度を初年度とし「事業」「利用者」「職員」「防災・防犯」を4つの柱とし、5年後における事業団のあるべき姿を表し、職員が一致協力して業務を遂行し、支援の充実と、安全・安心の確立を図ることを目的とした計画であり、令和5年度が最終年度であることから、振返りを行なった。

(1) 事業関係

(ア) 特定・障害児相談支援事業所「じりつ」の充実

利用者のご家族を取り巻く環境やサービスの多様化に伴い、相談内容も複雑化し、限られた相談員では新規相談の受入れが難しい状況であった。

(イ) 青梅市自立センター

利用者の重度化や御家族を含めた高齢化により、グループホーム利用者が増え

るなど、生活環境も変化しているため、関係機関と連携を図りながら利用者個々の状態に合わせた支援に努めた。

(2) 利用者関係

(ア) 行事

計画期間中のコロナ禍において全体行事については縮小または中止としたものも多くあったが、令和5年度から運動会・ふれあいの集いを縮小して再開した。また、部門行事については、感染対策をとりながら近場でのドライブや外出を計画した。

(イ) 送迎サービス

送迎業務については、業者委託によるバス4台と、職員による福祉車両等3台により運行した。コロナ禍においては感染防止のため、公共交通を利用した自主通所者のうち希望される方については、送迎バスを利用する対応を行ったが、コロナ明け後も半数以上が引き続き送迎バス利用を希望されている。また、利用者乗降場所の変更など状況の変化に応じて検討した。

(ウ) 家族の参画

コロナ禍において個別面談は電話や来所していただくかの選択にて実施をした。班別懇談会・保護者参観・全体懇談会については中止としていたが、令和5年度は再開することができた。今後については、ご家族の高齢化や、働く家族等の状況を踏まえた対応を確認していく。

(エ) 第三者評価

計画期間中の令和元年度と令和4年度に受審し、双方とも概ね良好な評価であった。

(3) 職員関係

(ア) 年度重点目標と自己評価

職員の資質および能力の向上を図ることを目的に実施してきたが、令和3年度から、人事評価を客観的に行う事も目的として目標設定・人事評価制度に切替えて実施した。

(イ) 給食について

令和5年度より安定提供のため年間を通して調理業務について業者委託とした。また、嗜好調査を実施しアレルギーの確認やリクエスト食など参考に、委託業者も会議に参加し、全体としてより良い給食の提供に努めた。食中毒等の事故をおこすことなく食事の提供が行えた。

(ウ) 文書管理システムの構築

職員に「秘密情報の保護に関する誓約書」を提出させ、個人情報の取扱いについて再確認を行い、合わせて文書の保存、廃棄方法について確認した。

(エ) 委員会の設置

コロナ禍において行事を担当する委員会の活動は最小限に留まりました。第5期中期経営計画の策定については委員会を設置し検討した。

(4) 防災・防犯関係

(ア) 防災について

計画期間中、有事の際に迅速かつ円滑に避難ができるように利用者と職員により自衛消防訓練を隔月で実施した。

また災害後の事業継続計画（BCP）を作成し、職員に周知した。

(イ) 防犯について

不審者対策など安全面での整備については、玄関にインターホンを設置し直接対面しないことと、防犯カメラも設置することで対策を継続した。

13 事業団職員数および職員配置

職 員 48名

職員配置 別表第2のとおり

別表第1-1

役員および評議員名簿

令和6年3月31日現在

	フリガナ 氏 名	就任年月日	任 期	職 業 等
理事長	コヤマ タカヨシ 小 山 高 義	令和6年3月1日	自 令和6年3月1日 至 令和7年度 定時評議員会終結時	青梅市副市長
副理事長	マズダ ヒロシ 増 田 博 司	令和4年1月27日	自 令和5年度 定時評議員会終結時 至 令和6年3月31日	青梅市健康福祉部長
常務理事	シマザキ マサユキ 島 崎 昌 之	令和3年4月1日	自 令和5年度 定時評議員会終結時 至 令和7年度 定時評議員会終結時	社会福祉法人青梅市社会 福祉事業団事務局長
理 事	カネコ リヨシ 金 子 典 由	平成30年8月27日	自 令和5年度 定時評議員会終結時 至 令和7年度 定時評議員会終結時	社会福祉法人青梅市社会 福祉協議会会長
理 事	ウチヤマ サトシ 内 山 敏	令和3年6月28日	自 令和5年度 定時評議員会終結時 至 令和7年度 定時評議員会終結時	社会福祉法人友愛学園 事務局長
理 事	マシコ マスミ 増 子 ますみ	令和2年6月25日	自 令和5年度 定時評議員会終結時 至 令和7年度 定時評議員会終結時	青梅市自立センター 利用者家族代表
監 事	ヤタベ マサヒサ 谷田部 祐 久	令和3年4月1日	自 令和5年度 定時評議員会終結時 至 令和7年度 定時評議員会終結時	青梅市会計管理者
監 事	マチダ チョウセイ 町 田 長 生	令和元年6月27日	自 令和5年度 定時評議員会終結時 至 令和7年度 定時評議員会終結時	税理士
監 事	サシダ オサム 指 田 修	平成29年4月1日	自 令和5年度 定時評議員会終結時 至 令和7年度 定時評議員会終結時	社会福祉法人南風会 理事長
評議員	コジマ ナオユキ 小 嶋 直 之	令和5年6月7日	自 令和5年6月7日 至 令和7年度 定時評議員会終結時	社会福祉法人長淵福祉会 介護老人福祉施設 カントリービラ青梅施設長
評議員	アキバ ヒサオ 秋 葉 久 夫	令和5年2月24日	自 令和5年2月24日 至 令和7年度 定時評議員会終結時	青梅市民生児童委員合同 協議会理事

評議員	ヨシナガ ノブユキ 吉 永 信 之	令和5年6月7日	自 令和5年6月7日 至 令和7年度 定時評議員会終結時	青梅市自治会第11支会 支会長
評議員	カゲヤマ マサカズ 影 山 正 和	平成23年4月1日	自 令和3年度 定時評議員会終結時 至 令和7年度 定時評議員会終結時	今井五丁目自治会顧問
評議員	アライ ミホコ 新 井 美 芳 子	令和4年6月6日	自 令和4年6月6日 至 令和7年度 定時評議員会終結時	青梅市自立センター 利用者家族代表
評議員	タムラ キヨコ 田 村 紀 代 子	令和4年6月6日	自 令和4年6月6日 至 令和7年度 定時評議員会終結時	青梅市自立センター 利用者家族代表
評議員	サイトウ タケン 斎 藤 剛	令和4年6月6日	自 令和4年6月6日 至 令和7年度 定時評議員会終結時	青梅市 障がい者福祉課長

別表第1-2

評 議 員 選 任 ・ 解 任 委 員 名 簿

令和6年3月31日現在

	フリガナ 氏名	就任年月日	任期	職業等
評議員選任・ 解任委員	ヤタベ マサヒサ 谷田部 祐 久	令和3年4月1日	自 令和3年4月1日 至 令和6年度 定時評議員会終結時	青梅市会計管理者
評議員選任・ 解任委員	タカノ トシミ 高 野 敏 巳	平成29年2月24日	自 令和2年度 定時評議員会終結時 至 令和6年度 定時評議員会終結時	社会福祉法人青梅市社会 福祉事業団指導第二課長
評議員選任・ 解任委員	オカモト トミオ 岡 本 富 郎	令和2年6月25日	自 令和2年度 定時評議員会終結時 至 令和6年度 定時評議員会終結時	社会福祉法人青梅市社会 福祉事業団第三者委員

別表第1-3

第 三 者 委 員 名 簿

令和6年3月31日現在

	フリガナ 氏名	就任年月日	任期	職業等
第三者委員	オカモト トミオ 岡 本 富 郎	令和2年2月20日	自 令和5年4月1日 至 令和7年3月31日	元青梅市障害者 サポートセンター施設長
第三者委員	ハラ トシオ 原 俊 雄	令和3年4月1日	自 令和5年4月1日 至 令和7年3月31日	元養護学校教諭

別表第2

職 員 配 置 表

令和6年3月31日現在

事務局 (本部)				※ 実数 4名
(事 務 局 長)	島崎 昌之 (常務理事兼務)			
(係 長)	伊藤 栄治			
(主 事)	長谷川 晋 本木 明美			

指導第一課 (課長)	藤野奈穂美	(就労支援事業所および特定・障害児相談支援事業所管理者兼務)	※ 実数 8名
(課長補佐)	大栗重幸	(就労支援事業所副管理者、就労継続サービス管理責任者兼務)	
(係長)	原島康二	(就労移行サービス管理責任者兼務)	
	櫻木真人	(就労継続サービス管理責任者兼務)	
	山本そのみ	(相談支援専門員兼務)	
(嘱託医)	瀧川牧人		
(看護師)	小池絵美		
(栄養士)	下笹由紀子		
指導第二課			※ 実数 4名
(課長)	高野敏巳	(生活介護事業所管理者、特定・障害児相談支援事業所副管理者兼務)	
(課長補佐)	西ヶ谷薫	(生活介護事業所副管理者、生活介護サービス管理責任者兼務)	
(係長)	大野孝行	島津聡子	
就労支援事業所(就労移行支援)			※ 実数 2名
(管理者)	藤野奈穂美	(課長兼務・指導第一課所属)	
(副管理者)	大栗重幸	(課長補佐兼務・指導第一課所属)	
(サービス管理責任者)	原島康二	(係長兼務・指導第一課所属)	
(就労支援員)	茂木洋明		
(職業指導員)	田中泰行	(生活支援員兼務)	
(生活支援員)	田中泰行	(職業指導員兼務)	
就労支援事業所(就労継続支援B型)			※ 実数 8名
(管理者)	藤野奈穂美	(課長兼務・指導第一課所属)	
(副管理者)	大栗重幸	(課長補佐兼務・指導第一課所属)	
(サービス管理責任者)	大栗重幸	(課長補佐兼務・指導第一課所属)	
(サービス管理責任者)	櫻木真人	(係長兼務・指導第一課所属)	
(主事)	伊藤栄治	(係長兼務・事務局所属)	
	本木明美	(事務局所属)	
(職業指導員)	櫻木真人	(係長兼務・指導第一課所属)	
	須崎浩文	皆川香 坂本文代 郡司竜太	
	土方宏子		
(生活支援員)	山本そのみ	(係長、相談支援専門員兼務・指導第一課所属)	
	鮫島留津子	八木美和 西田信枝	
(栄養士)	下笹由紀子	(指導第一課所属)	
生活介護事業所(生活介護)			※ 実数 15名
(管理者)	高野敏巳	(課長兼務・指導第二課所属)	
(副管理者)	西ヶ谷薫	(課長補佐兼務・指導第二課所属)	
(サービス管理責任者)	西ヶ谷薫	(課長補佐兼務・指導第二課所属)	
(主事)	長谷川晋	(事務局所属)	
(生活支援員)	大野孝行	(係長兼務・指導第二課所属)	
	島津聡子	(係長兼務・指導第二課所属)	
	篠原初美	(相談支援専門員兼務)	

	小山 克之 (相談支援専門員兼務)			
	川杉ひろみ	原島 秀子	茂木 純子	吉原 愛典
	榎本恵一郎	佐野 萌	白取 督康	峯邑 尚子
	横川 良恵	稀代英津子	今野 宏江	東海林真理子
(看 護 師)	小池 絵美 (指導第一課所属)			
(臨 時 運 転 手)	川杉 和弘			
福祉農園 (作 業 員)	志村 英明	久保田義弘	町田 芳信	※ 実数 7名 吉田 伸男
	吉永 堅一	水村 和朗	吉永 信之	
特定・障害児相談支援事業所 (特定相談支援・障害児相談支援)				※ 実数 0名
(管 理 者)	藤野奈穂美 (課長兼務・指導第一課所属)			
(副 管 理 者)	高野 敏巳 (課長兼務・指導第二課所属)			
(相 談 支 援 専 門 員)	山本そのみ (係長兼務・指導第一課所属)			
	篠原 初美 (生活支援員兼務・生活介護所属)			
	小山 克之 (生活支援員兼務・生活介護所属)			

II 事業団指導第一課

指導第一課は、障害者総合支援法にもとづく事業所である青梅市自立センター就労支援事業所と、障害者総合支援法および児童福祉法にもとづく事業所である特定・障害児相談支援事業所「じりつ」を所管、利用者を取り巻く様々な環境の的確な把握や、これまで実践してきた支援内容の評価・検証の積み上げを図る等により、障害者総合支援法等の趣旨を踏まえた利用者を主体とした福祉サービスを提供した。

また、自立センターで提供する給食サービスでは、利用者の嗜好や栄養のバランスおよび安全性に配慮した栄養管理業務を行った。

さらに、自立センターの火災の予防および火災、地震その他の災害等による人命の安全および被害の軽減に向けた訓練を実施した。

1 職 員 8名

課 長 1名 (就労支援事業所および特定・障害児相談支援事業所管理者兼務)

課 長 補 佐 1名 (就労支援事業所副管理者、就労継続サービス管理責任者兼務)

係 長 1名 (就労移行サービス管理責任者兼務)

1名 (就労継続サービス管理責任者兼務)

1名 (相談支援専門員兼務)

嘱 託 医 1名

看 護 師 1名

栄 養 士 1名

III 事業団指導第二課

指導第二課は、障害者総合支援法にもとづく事業所である青梅市自立センター生活介護事業所を所管、利用者を取り巻く様々な環境の的確な把握や、これまで実践してきた

支援内容の評価・検証の積み上げなどにより、障害者総合支援法等の趣旨を踏まえた利用者を主体とした福祉サービスの提供に努めるとともに、利用者や家族等からの相談・苦情等について、適切かつ円滑・円満な対応に努めた。

また、利用者の医療については、個々のニーズが多種多様であるため、外部医療機関や嘱託医および看護師との連携を図りながら職員の医学的知識を高め、緊急診療や急性疾患に対する発見・処置を適切に行えるよう保健衛生の推進・充実にあたるとともに、事業所内における医療的ケア（吸引）を実践した。

さらに、運営基本方針の周知徹底や事業所間の連絡調整、職員研修の実施などにより、職員のスキルアップおよび業務の円滑な遂行等に努めた。

1 職員	4名
課長	1名（生活介護事業所管理者、特定・障害児相談支援事業所副管理者）
課長補佐	1名（生活介護事業所副管理者兼務、生活介護サービス管理責任者兼務）
係長	2名

IV 青梅市自立センター

就労支援事業所では、障害者総合支援法にもとづき、原則として18歳以上の一般就労を希望する障害者に対して、定められた期間にわたり職場実習の提供、生産活動その他必要な活動の機会の提供を通じて、一般企業等への就職に必要な知識および能力の向上のための訓練等を行った。また、一般企業に雇用されることが困難な障害者に対し、就労の機会を継続して提供するとともに、生産活動その他必要な活動の機会の提供を通じて、その知識および能力の向上に向け訓練等を行った。

生活支援事業所では、18歳以上で常時何らかの介護が必要な障害者に対し、日常生活支援を中心に社会適応支援・創作活動や生産活動への支援やリハビリ支援の提供を行い日常生活行動の充実を図った。

1 事業所概要

敷地	9,070㎡
構造	鉄筋コンクリート造2階（一部3階）建
建物・定員	就労支援事業所 1767.78㎡
	就労移行支援 6名
	就労継続支援B型 74名
	生活介護事業所 1524.20㎡
	生活介護 35名

2 利用者の状況（令和6年3月31日現在）

(1) 在籍利用者数

種 別	男 性	女 性	合 計
就労移行支援	3名	2名	5名
就労継続支援B型	44名	22名	66名
生活介護	18名	14名	32名
合 計	65名	38名	103名

(2) 入退所者

入 所 者 2名 (男性2名)

退 所 者 4名 (男性2名・女性2名)

※ 自立センター内の契約変更者、3月31日付退所者を除く。

(3) 手帳所持者数

愛の手帳所持者 男性54名 女性35名 合計89名

身障手帳所持者 男性27名 女性18名 合計45名

精神手帳所持者 男性 0名 女性 2名 合計 2名

(4) 全体平均年齢

男性42.5歳 女性43.3歳 全体42.8歳

3 青梅市自立センターの主な行事等

期 日	主 な 行 事	場 所
4月1日	新規職員3名(支援員2名・運転手1名)	自立センター
4月1日	契約変更者5名(移行から継続3名、継続から移行2名)	〃
4月1日	青梅市社会福祉事業団新年度事業開始 利用者 就労支援事業所 就労移行支援 現員 5名 就労継続支援B型 現員 69名 生活介護事業所 生活介護 現員 31名 合計 105名	〃
4月3日	新年度事業準備(利用者春季休業)	〃
4月4日	年度始め式	〃
4月10日	入所者1名(生活)	〃
4月10日～	生活部門個別面談	〃
5月12日		
4月17日	入所者1名(生活)	〃
4月19日	退所者1名(他施設)	〃
4月20日	新規職員1名(農園作業員)	〃
4月24日～6月9日	就労部門個別面談	〃
5月20日	第30回運動会(参加者174名)	誠明学園体育館
6月12・13・15日	就労部門保護者参観日	自立センター
6月19・22日	生活部門保護者参観日	〃
6月26日～29日	ぶどう笠かけ作業期間(期間中延べ4日間・121名参加)	〃
7月4日	退所者1名(他施設)	〃
7月5・6・7日	就労部門夏季レクリエーション会(花園フォレスト他)	花園フォレスト他
7月13日	生活部門夏季レクリエーション会(イオンモール日の出他)	イオンモール他
8月23日	ぶどう収穫祭(ワイン用ぶどう3,980kgを収穫・130名参加)	自立センター
8月31日	退職者2名(係長1名・支援員1名)	〃
9月3日	サポートセンター交流祭(自主生産品の展示・即売)	サポートセンター
9月12日	退職者1名(支援員)	自立センター
9月15日	生活部門バスハイク(奥武蔵休暇村他)	奥武蔵休暇村他

9月22日	胸部レントゲン撮影実施	自立センター
10月13日	心電図検査実施(40歳以上・44名実施)	〃
10月22日	第31回ふれあいの集い(参加者250名)	〃
11月3日	花の里祭り(自主生産品の展示・即売)	花の里
11月6・9・10日	就労部門家族班別懇談会・試食会	自立センター
11月12日	かすみフードフェスティバル(自主生産品の展示・即売)	今寺4丁目グラウンド
11月18～19日	青梅宿アートFES'23(自主生産品の展示・即売)	青梅宿
11月22日	就労部門第三者委員の活動(利用者放談会から帰宅時視察)	自立センター
11月29日	生活部門第三者委員の活動(日常支援から帰宅時視察)	〃
11月30日	退所者1名(在宅)	〃
12月1日	新規職員1名(支援員)	〃
12月4～8日	障害者施設等作品展示会(自主生産品の展示・即売・即売:5日)	青梅市役所
12月7日	生活部門冬季レクリエーション会(モリタウウン他)	モリタウウン他
12月11・15日	生活部門家族班別懇談会・試食会	自立センター
12月12・14・15日	就労部門冬季レクリエーション会(和食レストランそうま他)	そうま他
12月27日	JKA補助事業により新車両(セレナ)納車	自立センター
12月29日～	冬季休業	〃
1月3日		
12月31日	退職者1名(農園作業員)	〃
1月18日	新規職員1名(農園作業員)	〃
1月25日	ワイン「ボッパルトの雫」販売	市内酒屋
1月31日	退所者1名(他施設)	自立センター
2月29日	退職者1名(運転手)	〃
3月8・15日	就労部門日帰旅行(群馬県立自然史博物館他)	自然博物館他
3月13日	職員集合研修(障害者虐待防止法の概要)	自立センター
3月14日	就労部門家族全体懇談会	〃
3月15日	生活部門家族全体懇談会	〃
3月31日	退職者1名(係長)	〃
3月31日	令和5年度事業終了	〃
毎月	幹部会議	〃
毎月	職員会議(各部門)	〃
毎月	厨房給食会議	〃
毎月	健康診断(総合健康診断年2回含む)	〃
毎月	機能訓練『理学療法・作業療法』	〃
毎月	工賃配分(就労)	〃
毎月	班別活動(生活)	〃
毎月	音楽活動(生活)	〃
毎月	心理相談(就労)	〃
隔月	係長会議	〃
隔月	現場調整会議	〃
隔月	自衛消防訓練(自衛消防総合訓練年1回含む)	〃
隔月	利用者放談会(就労)	〃
随時	職員抗原検査(週2回)	〃
随時	新型コロナウイルスワクチン接種(2回)	〃
随時	職員研修(オンラインWeb研修含む)	〃
随時	支援会議	〃
随時	班別会議	〃
随時	個別支援検討会議	〃
随時	評定会議(就労)	〃
随時	ケース会議(生活)	〃
随時	危機管理委員会	〃
随時	虐待防止委員会	〃
随時	業務標準化マニュアル検討委員会	〃
随時	送迎業務検討委員会	〃

随時	パソコン管理委員会	自立センター
随時	ボランティア担当	〃
随時	研修担当	〃
随時	作業に関する検討委員会	〃
随時	サービス向上委員会	〃
随時	運動会検討実行委員会	〃
随時	ふれあいの集い検討実行委員会	〃
随時	文書管理委員会	〃
随時	新型コロナウイルス感染症対策委員会	〃
随時	第5期中期経営計画検討委員会	〃
随時	機関紙「自立」の発行	〃
随時	職員ストレスチェックの実施	〃
随時	産業カウンセラーによる職員へのカウンセリングの実施	〃
随時	実習生の受入	〃
随時	現場実習の受入	〃
随時	見学者の受入	〃
随時	各種ボランティア受入	〃
随時	武州交通興業との合同会議	〃
随時	青梅市担当課と幹部との合同会議	〃
随時	家族会役員と幹部との合同会議	〃
年6回	クラブ活動（就労）	〃
年4回	課外活動（生活）	〃
年5回	ゆとりの時間（生活）	〃
年3回	総合通所支援（就労）	公共交通機関等
年4回	作業褒賞（生活）	自立センター
年1回	事業団機関誌「ふれあい」第24号発行	社会福祉事業団

4 就労支援事業所

(1) 就労移行支援

ア 定員と職員

定員（実数）	6名（5名）
職員（実数）	6名（2名）
管理者	1名（課長兼務・指導第一課所属）
副管理者	1名（課長補佐兼務・指導第一課所属）
サービス管理責任者	1名（係長兼務・指導第一課所属）
就労支援員	1名
職業指導員	1名（生活支援員兼務）
生活支援員	1名（職業指導員兼務）

イ 障害の程度と年齢（人数）

<愛の手帳>

<身障手帳>

障害の程度	1度	2度	3度	4度	計	1級	2級	3級	4級	5級	計
男性			2		2	1					1
女性			1	1	2						0
計	0	0	3	1	4	1	0	0	0	0	1

＜精神手帳＞

障害の程度	1級	2級	3級	他	計
男性					0
女性					0
計	0	0	0	0	0

年齢	18～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～	計
男性							1	1	1		3
女性					1		1				2
計	0	0	0	0	1	0	2	1	1	0	5

平均年齢 男性52.3歳 女性42.2歳 全体48.2歳

(2) 就労継続支援B型

ア 定員と職員

定員(実数)	74名(66名)
職員(実数)	17名(8名)
管理者	1名(課長兼務・指導第一課所属)
副管理者	1名(課長補佐兼務・指導第一課所属)
サービス管理責任者	1名(課長補佐兼務・指導第一課所属)
サービス管理責任者	1名(係長兼務・指導第一課所属)
主事	1名(係長兼務・事務局所属)
	1名(事務局所属)
職業指導員	6名(うち1名係長兼務・指導第一課所属)
生活支援員	4名(うち1名係長、相談支援専門員兼務・指導第一課所属)
栄養士	1名(指導第一課所属)

イ 障害の程度と年齢(人数)

＜愛の手帳＞

＜身障手帳＞

障害の程度	1度	2度	3度	4度	計	1級	2級	3級	4級	5級	計
男性		11	20	4	35	8	7	2			17
女性		5	11	4	20	1	4	3		1	9
計	0	16	31	8	55	9	11	5	0	1	26

＜精神手帳＞

障害の程度	1級	2級	3級	他	計
男性					
女性	1	1			2
計	1	1	0	0	2

年齢	18～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～	計
男性		2	5	6	6	3	7	5	8	2	44
女性		1		2	4	5	5	4		1	22
計	0	3	5	8	10	8	12	9	8	3	66

平均年齢 男性43.6歳 女性44.0歳 全体43.7歳

5 生活介護事業所

(1) 生活介護

ア 定員と職員

定員(実数)	35名(32名)
職員(実数)	22名(15名)
管理者	1名(課長兼務・指導第二課所属)
副管理者	1名(課長補佐兼務・指導第二課所属)
サービス管理責任者	1名(課長補佐兼務・指導第二課所属)
主事	1名(事務局所属)
生活支援員	4名(うち2名係長兼務・指導第二課所属、2名 相談支援専門員兼務)
	12名
看護師	1名(指導第一課所属)
臨時運転手	1名

イ 障害の程度と年齢(人数)

<愛の手帳>

<身障手帳>

障害の程度	1度	2度	3度	4度	計	1級	2級	3級	4級	5級	計
男性	2	15			17	5	1	1	1	1	9
女性	3	10			13	5	3		1	0	9
計	5	25	0	0	30	10	4	1	2	1	18

<精神手帳>

障害の程度	1級	2級	3級	他	計
男性					0
女性					0
計	0	0	0	0	0

年齢	18～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～	計
男性		1	2	5	3	2	3		1	1	18
女性			3	1	2	2	3		3		14
計	0	1	5	6	5	4	6	0	4	1	32

平均年齢 男性38.3歳 女性42.4歳 全体40.1歳

ウ 福祉公開講座

講座内容	講師	開催回数	参加延人員	備考
音楽療法	吉野 良子 氏	12回	188名	基本の感染症対策を継続し1年間開催した。
ビーズアクセサリ	明田川冬子 氏	10回	80名	新型コロナ感染症の5類移行後の6月から講座を再開した。ただし、入館時の検温と手指消毒は協力をいただいた。

6 自立センター就労支援事業および作業支援事業

○ 就労支援事業

受託作業

ベアリング等車両部品組立
寝装具類包装・梱包
不動産事業者の賃貸物件等清掃・除草
福祉施設清掃業務、自立センター清掃業務受託
青梅市内公園清掃業務受託
レントゲンフィルムの分別作業
金属部品袋詰業務受託

自主生産作業

印刷：封筒・名刺等の印刷
木工：各種木工芸品の製作と販売
陶芸：和陶器の製作と販売
農園：ワイン用ぶどうの栽培
リサイクル：牛乳パックリサイクル品販売
青梅市役所喫茶コーナー運営への参画

就労支援

総合体育館受付業務実習（4名）
青梅市役所喫茶コーナー業務実習（2名）

○ 作業支援事業

牛乳パック手すきハガキの製作
ビーズクラフト製品の製作
自動車部品加工
菓子箱の仕切り折り
食品ビニール袋のシール貼り
ワイン用ぶどうの栽培作業協力
金属部品袋詰

7 自立センター福祉農園事業

- (1) 職員 作業員7名
(2) 作業内容 ワイン用ぶどうの管理・栽培

8 成木2丁目ぶどう植樹地管理事業

- (1) 管理場所 青梅市成木2丁目416番地の1
- (2) 管理内容 葡萄の木の育成管理
- (3) 管理方法 成木農業者振興会へ委託
- (4) 管理日数 延べ43日
- (5) 管理人員 延べ566名

9 事故報告

報告内容	件数	備考
施設設備損壊	2件	
什器破損	10件	利用者・職員による破損
公用車両損壊	2件	劣化による破損・傷あとの気付き
所在不明	1件	送迎バスに乗車せず単独で利用者が帰宅した。
その他	6件	利用者による私物破損・誤配布・実務中の職員のけが等
支援以外の内容	3件	鍵の紛失・バス座席のクリーニング代発生等
年間合計報告件数	24件	

V 特定・障害児相談支援事業所「じりつ」（特定相談支援・障害児相談支援）

特定・障害児相談支援事業所「じりつ」が行う特定相談支援事業および障害児相談支援事業の適正な運営を確保するために人員および管理運営に関する事項を定め、事業所の職員が、障害者、障害児および保護者に対し、適正な特定相談支援および障害児相談支援が行えるよう努めた。

1 対象者

- (1) 18歳以上の障害者（知的障害者・身体障害者・精神障害者・難病対象者）
- (2) 18歳未満の障害児（知的障害児・身体障害児）

2 職員（実数）

- 5名（0名）
- 管理者 1名（課長兼務・指導第一課所属）
- 副管理者 1名（課長兼務・指導第二課所属）
- 相談支援専門員 1名（係長兼務・指導第一課所属）
- 2名（生活支援員兼務・生活介護所属）

3 利用状況

- (1) 計画相談 97件
- (2) 継続支援（モニタリング） 62件
- (3) 対象者別利用状況

ア 18歳以上の障害者

	計画相談	継続支援(モニタリング)
自立センター	64件	54件
上記以外	18件	7件
合計	82件	61件

イ 18歳未満の障害児

	計画相談	継続支援(モニタリング)
合計	15件	1件